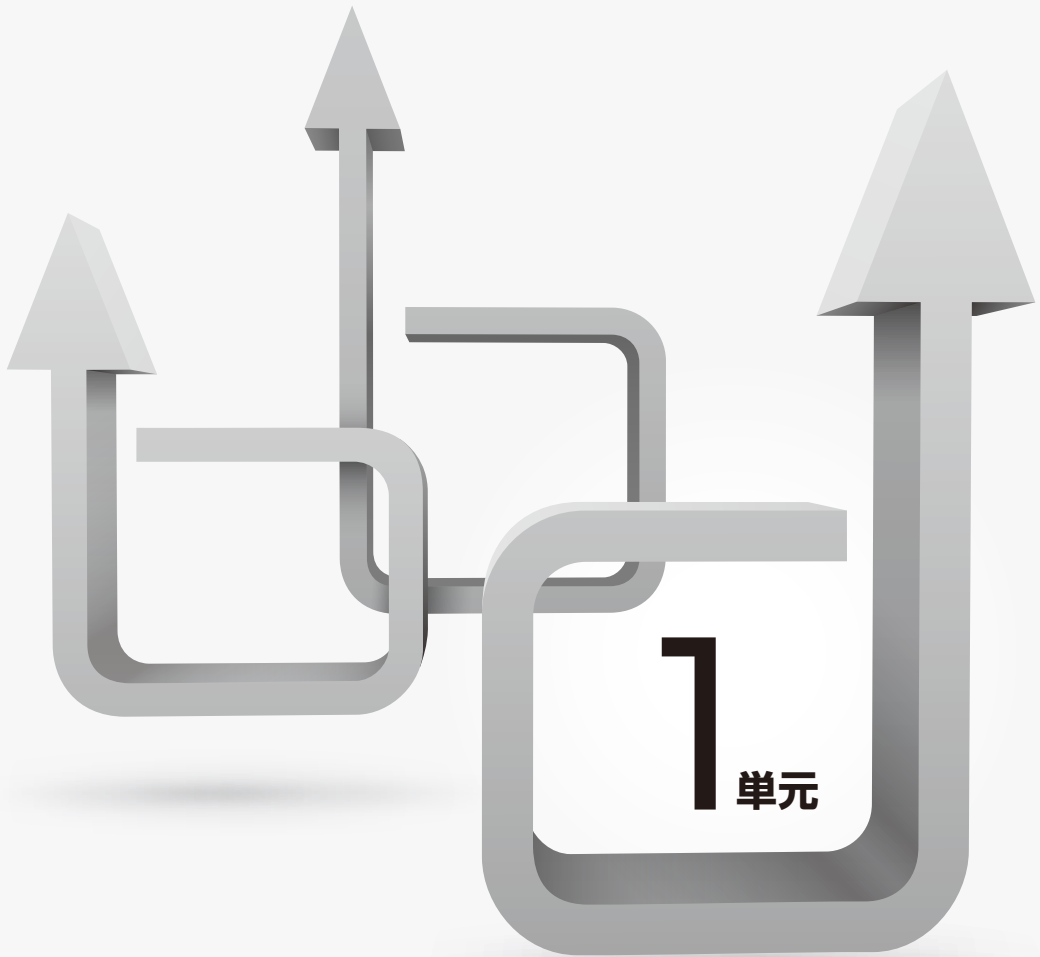


新

財務の基礎 コース

会社のお金の動きを理解する



東洋大学大学院経営学研究科教授
経営コンサルタント

木下 潔

単元のねらい	2
--------------	---

第1章

会計の目的としくみ

1-1 会計の役割	10
1-1-1 会計の目的	10
1-1-2 会計情報を必要とする人たち	12
1-1-3 経理・会計・財務のちがい	14
1-1-4 会計を学ぶことの意義	15
1-2 会計のしくみ	17
1-2-1 「収入／支出」と「収益／費用」のちがい	17
1-2-2 会計のルール	18
1-3 決算書	20
1-3-1 会計と決算書	20
1-3-2 決算書の種類	21
1-3-3 決算書は誰のためにあるものか	22
1-3-4 損益計算書	23
1-3-5 貸借対照表	25
1-3-6 株主資本等変動計算書	29
1-3-7 キャッシュフロー計算書	30
1-3-8 その他の決算関係書類	31
自由研究課題	33

第2章

会社の儲けが一目でわかる

2-1	さまざまな利益とコスト	36
2-1-1	さまざまな利益	36
2-1-2	さまざまなコスト	37
2-1-3	利益とコストがわかる決算書	38
2-2	損益計算書の構造	39
2-2-1	企業活動の付加価値がわかる「売上総利益」	40
2-2-2	本業の成績を表す「営業利益」	41
2-2-3	会社の通常の状態における成績	41
2-2-4	最終的な会社の成績	42
2-3	損益計算書の構成	44
2-3-1	売上高と売上の計上	44
2-3-2	売上原価と売上総利益	46
2-3-3	販管費と営業利益	49
2-3-4	営業利益と経常利益	50
2-3-5	税引前当期純利益と当期純利益	52
	自由研究課題	55

第3章

会社の利益とコストを分析する

3-1	損益計算書を読み解く	58
3-1-1	損益計算書のざっと読み	58
3-1-2	損益計算書の裏読み	59

3-2	経営分析	61
3-2-1	比較することが分析の基本	61
3-2-2	数値の比較と指標の比較	61
3-2-3	損益計算書からわかる収益性分析の指標	62
3-2-4	生産性分析	63
3-3	損益計算書を使った経営分析の実際	64
3-3-1	損益計算書を使った分析の前に確認すること	64
3-3-2	損益計算書を使った分析の例	66
3-3-3	利益を増やすための方程式	69
3-4	損益計算書の作成ルール	72
3-4-1	企業会計原則の一般原則とは	72
3-4-2	損益計算書原則	74
3-4-3	損益計算書の区分	76
	自由研究課題	77

第4章

会計の基礎＝簿記のルールを知る

4-1	複式簿記と仕訳	80
4-1-1	簿記上の取引	80
4-1-2	複式簿記とはどんなしくみか？	81
4-1-3	仕訳の手続き	81
4-1-4	実際の仕訳はこのように行う	82
4-2	決算までの流れ	85
4-2-1	取引の仕訳を行う	85
4-2-2	総勘定元帳に転記する	86

4-2-3	試算表を作成して借方／貸方が一致するかを確認する	87
4-2-4	期末に精算表を作成して、決算整理を行う	88
4-3	決算整理とはどんな手続きか	90
4-3-1	売上原価はどのようにして求めるか？	90
4-3-2	減価償却という手続き	93
4-3-3	その他の決算整理項目	95
	自由研究課題	99

第5章

資金管理でがっちり利益を確保する

5-1	資金管理とは	102
5-1-1	資金管理の目的	102
5-1-2	営業活動における資金の流れ	103
5-2	資金繰り表による現金管理	105
5-2-1	短期的な資金管理が必要な項目	105
5-2-2	資金繰り表の様式	106
5-2-3	資金繰り表からわかること	107
5-3	試算表による月次管理	109
5-3-1	試算表によるチェックが必要な理由	109
5-3-2	試算表でなにが読み取れるのか	110
	自由研究課題	114

第6章

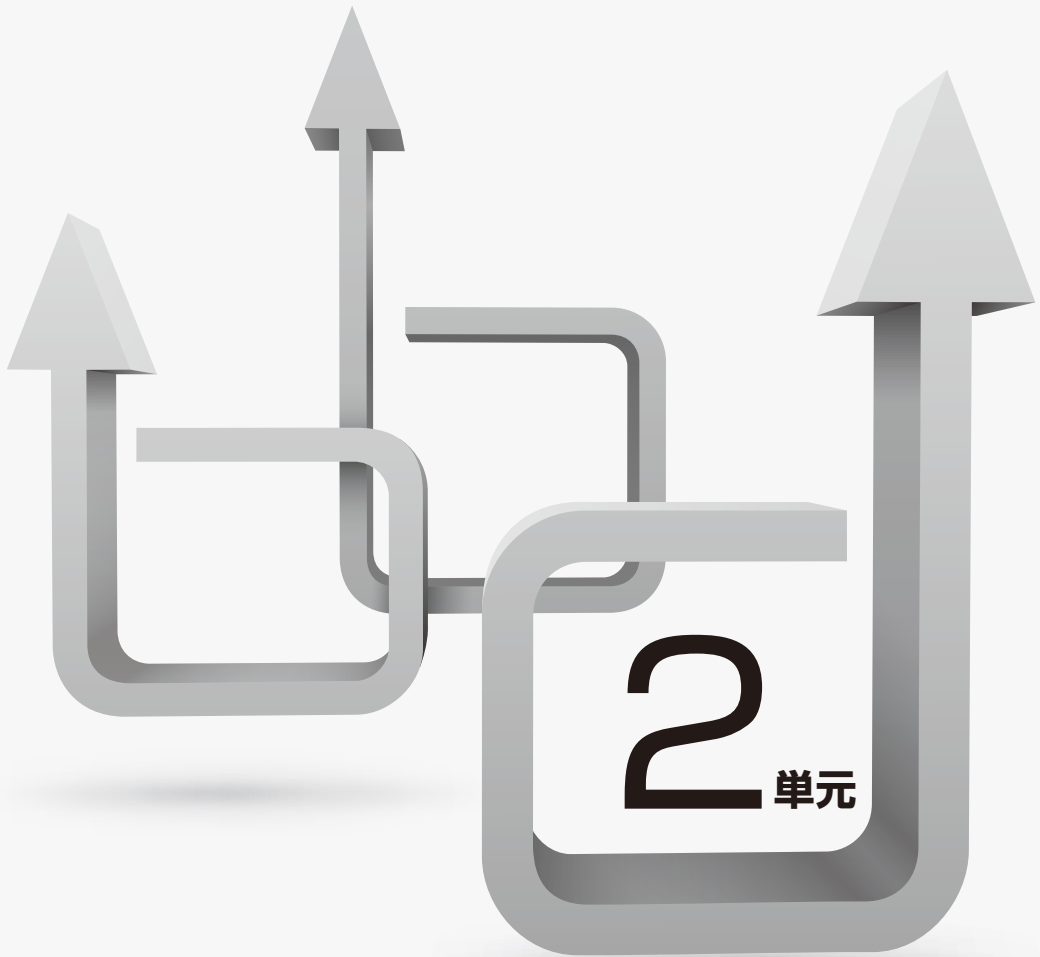
第1単元のまとめ

参考文献	122
索引	123

新

財務の基礎 コース

会社が儲けを生み出す源泉を理解する



東洋大学大学院経営学研究科教授
経営コンサルタント

木下 潔

単元のねらい	2
--------	---

第1章

会社の資金調達と使いみち

1-1 お金の動きと資産の関係	8
1-2 会社におけるお金の情報	9
1-3 資金の調達方法	12
1-3-1 会社はどのようにして資金を調達する必要があるのか	12
1-3-2 会社が資金を調達する方法	12
1-3-3 資金調達に要するコスト	14
1-3-4 負債による資金調達コストと株主資本による資金調達コスト	16
1-4 資金の運用方法	19
1-4-1 会社はなぜ資産を持つのか	19
自由研究課題	21

第2章

貸借対照表を読み解く

2-1 貸借対照表の基礎知識	24
2-1-1 資金調達と資産の現状がわかるのが貸借対照表	24
2-1-2 貸借対照表原則	26
2-1-3 貸借対照表と損益計算書の関係	28
2-2 貸借対照表の詳細	30
2-2-1 貸借対照表の左側の見方	30
2-2-2 貸借対照表の右側の見方	33

2-2-3	流動性とは何か	33
2-2-4	「流動」と「固定」のちがい	34
2-3	貸借対照表における勘定科目	37
2-3-1	流動資産の勘定科目	37
2-3-2	流動資産の時価会計	40
2-3-3	固定資産の評価方法と減価償却	40
2-3-4	減価償却と減損会計のちがい	42
2-3-5	負債の勘定科目にはどんなものがあるか	44
2-3-6	純資産の勘定科目にはどんなものがあるか	46
2-4	貸借対照表の目のつけどころ	53
2-4-1	資産の勘定科目ごとの目のつけどころ	53
2-4-2	負債と純資産の勘定科目の目のつけどころ	55
	自由研究課題	56

第3章

貸借対照表を用いた経営分析

3-1	決算書をもとに行う経営分析とは	58
3-1-1	数値や指標を使って比較する	58
3-1-2	決算書を用いた経営分析には限界がある	59
3-1-3	経営分析の目的を明確にして問題解決に導く	61
3-2	安全性分析	62
3-2-1	貸借対照表からどんな分析が可能なのか	62
3-2-2	短期の支払い能力がわかる流動性分析	63
3-2-3	長期安全性	64
3-2-4	資本の安定性	65

3-3	安全性分析の考え方	66
3-3-1	流動性分析と貸借対照表の構造	66
3-3-2	長期安全性分析と貸借対照表の構造	70
3-3-3	資本の安定性と貸借対照表の構造	71
3-4	総合的な収益性	75
3-4-1	会社の総合的な収益性を示す ROA	75
3-4-2	ROA を用いた経営分析	76
3-4-3	総資産回転率	76
3-5	安全性と総合収益性の分析（例題）	79
3-5-1	貸借対照表と損益計算書のデータ（例）をみる	79
3-5-2	総合的な収益性を見る	80
3-5-3	短期の支払い能力（流動性）について分析する	81
3-5-4	長期の安全性について分析する	83
3-5-5	資本の安定性について分析する	85
3-5-6	収益性について分析する	87
3-6	その他の経営分析指標	89
3-6-1	インタレスト・カバレッジ・レシオ	89
3-6-2	生産性を表す指標	89
3-6-3	成長性	91
	自由研究課題	92

第4章

企業グループの実力を読み取る

4-1	連結会計	94
4-1-1	グループ経営と連結会計	94

4-1-2	連結会計制度はなぜ必要か	95
4-1-3	連結となる範囲はどこまでか	96
4-2	連結決算書	98
4-2-1	連結決算書作成の手続き	98
4-2-2	包括利益と連結包括利益計算書	100
4-3	セグメント情報の活用	102
4-3-1	セグメント情報とは何か	102
4-3-2	セグメント情報の読み解き方	102
4-3-3	会社の決算書を比較分析する際の情報源	106
	自由研究課題	108

第5章

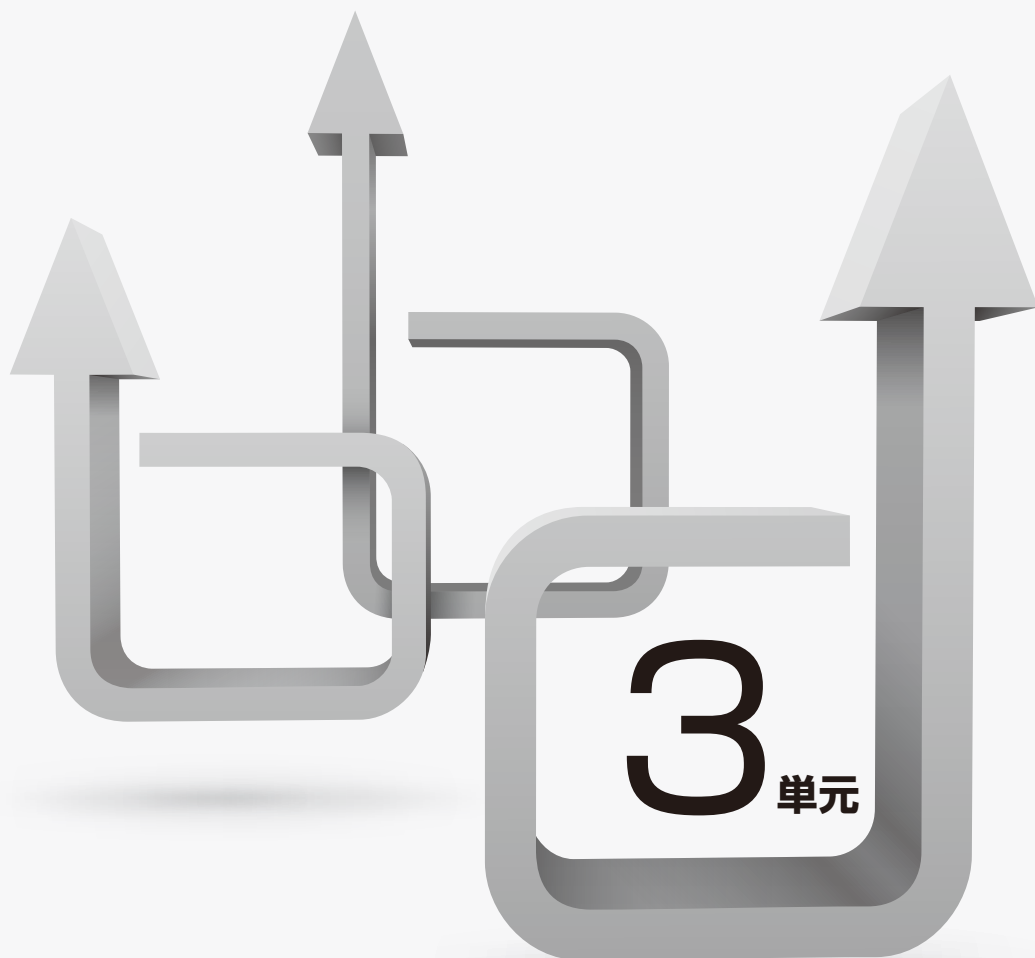
第2単元のまとめ

参考文献	116
索引	117

新

財務の基礎 コース

利益とコストの関係を知る



3 単元

東洋大学大学院経営学研究科教授
経営コンサルタント

木下 潔

単元のねらい	2
--------------	---

第1章

会社はほんとうに儲かっているのか？

1-1 利益とキャッシュの違い	8
1-1-1 勘定合って銭足らずとは？	8
1-1-2 黒字倒産とはどういうことか？	12
1-1-3 会計上の利益はあてにならない？	14
1-2 キャッシュフローとは	17
1-2-1 キャッシュ	17
1-3 キャッシュフロー計算書	20
1-3-1 企業活動とキャッシュフロー	20
1-3-2 キャッシュフロー計算書の目的	22
1-3-3 キャッシュフロー計算書の構造	23
1-3-4 営業活動によるキャッシュフローは何を示しているか	26
1-3-5 投資活動によるキャッシュフローは何を示しているか	28
1-3-6 財務活動によるキャッシュフローは何を示しているか	29
1-4 キャッシュフローの分析	31
1-4-1 キャッシュフロー計算書の読み方	31
1-4-2 キャッシュフローの動向分析	34
自由研究課題	37

第2章

利益とコストの関係

2-1	財務会計と管理会計	40
2-1-1	財務会計と管理会計のちがい	40
2-1-2	管理会計における費用の考え方	43
2-2	固定費と変動費	45
2-2-1	固定費と変動費をグラフで理解する	45
2-2-2	限界利益とは	49
2-3	損益分岐点計算	51
2-3-1	損益分岐点とは	51
2-3-2	損益分岐点をグラフで表すと...	52
2-3-3	変動費率や固定費を下げると利益が出るメカニズム	53
2-3-4	どうすれば、会社が利益を出せる体質になるか	54
2-4	損益分岐点と計算式	57
2-4-1	損益分岐点を計算式で表すと...	57
2-4-2	損益分岐点を計算で求めてみよう	60
2-5	損益分岐点計算の応用	63
2-5-1	安全余裕率	63
2-5-2	目標利益達成にどれだけの売上高が必要か	64
2-5-3	損益分岐点計算の例題	65
	自由研究課題	68

第3章

コストのコントロール

3-1	原価計算とは	70
3-1-1	原価と費用のちがい	70
3-1-2	原価とは何か	71
3-1-3	原価計算の目的	72
3-2	原価のさまざまな分類	76
3-2-1	原価の分類	76
3-2-2	製品原価と期間原価の関係	77
3-2-3	形態別の原価の区分	78
3-2-4	製品とのかかわりによる原価の区分	78
3-3	原価計算の方法	80
3-3-1	原価計算方法の体系	80
3-3-2	全部原価計算と直接原価計算	80
3-3-3	実際原価計算と標準原価計算	83
3-3-4	個別原価計算と総合原価計算	83
3-4	原価計算の実際	86
3-4-1	原価計算のステップ・アップ	86
3-4-2	費目別に原価計算を行う	87
3-4-3	部門別原価計算	95
3-4-4	製品別原価計算	98
3-5	標準原価計算	100
3-5-1	標準原価計算と実際原価計算のちがい	100
3-5-2	標準原価計算の進め方	101
3-5-3	直接材料費の差異分析	103
3-5-4	直接労務費の差異分析	105

3-5-5 製造間接費の差異分析	106
3-5-6 原価計算制度を導入する際の留意点	107
自由研究課題	108

第4章

第3単元のまとめ

参考文献	116
索引	117